

「栃木市職員 笑顔の子育て＆女性活躍サポートプラン」について

○ プランの目的・位置付け

次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法の規定に基づき、国の各府省や地方公共団体等は「特定事業主」として、自らの職員の子どもたちの健やかな育成のための特定事業主行動計画（特定事業主が実施する次世代育成支援対策に関する計画）及び女性の活躍に向けた特定事業主行動計画（特定事業主が実施する女性の職業生活における活躍の推進に関する取組に関する計画）を策定することとされています。今回の「栃木市職員 笑顔の子育て＆女性活躍サポートプラン」は、それらを一体化した形で策定したものです。

また、プランの計画年度は、令和２年度から令和６年度までの５年間です。

○ プランの構成

現行の子育て応援プランと女性活躍推進プランの一本化に当たり、それぞれの取組を整理・統合し、下記のような章立ての構成としました。

全体として、子育て応援プランに女性活躍推進プランを組み込むこととし、「女性職員のキャリア形成支援」の項目で、現行の女性活躍推進プランの大部分の取組を網羅することにしました。

施策の柱（２つ）	個別施策（全部で７つ）
◎制度の周知と利用促進	１ 妊娠・子育てと仕事の両立支援
	２ 家族の介護と仕事の両立支援
◎ワーク・ライフ・バランスの実現	１ 時間外勤務の縮減
	２ 年次有給休暇の取得促進
	３ 各年代が活躍できる場の創出
	４ 女性職員のキャリア形成支援
	５ 地域への貢献活動の推進

○ 「主体的取組事項」の記載

プランの実効性を高めるため、「誰が」、「いつ」、「何を」するのか明確に定めることが必要になると考え、特定事業主が行う取組を掲げた後に、「主体的取組事項」として、管理職や当事者、周囲の職員などが取り組むべき具体的な内容についても記載しました。

○ プランの主な取組

特定事業主が行う取組のうち、策定に伴う新しい取組について、裏面に主なものを記載しました。

また、以下の４つを重点項目とし、そこに係るものについては、太字で記載しました。

《 4つの重点項目 》

- ①職員の仕事と生活（子育て・介護等）の両立を支援する働き方改革を実施
- ②女性職員の職域拡大に向けた取組を推進
- ③女性職員のキャリアアップを支援
- ④男女それぞれの様々な体調の変化に応じ、職場で細やかなサポートを実施

◎制度の周知と利用促進

【個別施策①】妊娠・子育てと仕事の両立支援

○妊娠・子育て中に利用できる各種制度の周知 ○育児休業を取得した職員の円滑な職場復帰の支援 ○配偶者の出産前後の育児参加休暇の取得促進 ○男性職員の育児休業などの取得促進

【個別施策②】家族の介護と仕事の両立支援

○介護休暇制度の周知と取得支援
→取得支援ハンドブックを新たに作成

◎ワーク・ライフ・バランスの実現

【個別施策①】時間外勤務の縮減

○一斉定時退庁日の柔軟な運用 ○一斉定時退庁日の会議開催の制限 ○会議の改革 ○時間外勤務縮減の意識啓発

【個別施策②】年次有給休暇の取得促進

○「年次有給休暇取得促進月間」の推奨 ○朝礼の活用 ○全職員が休暇を取得できる職場環境づくり ○職員自身のスキルアップや家族に関する休暇の取得促進

【個別施策③】各年代が活躍できる場の創出

○職員の加齢に伴う体調の変化を思いやる職場環境づくり
→いわゆる更年期など、加齢に伴う体調の変化に悩む職員を職場全体で支える環境づくり

【個別施策④】女性職員のキャリア形成支援

○様々な機会を利用した情報提供の工夫 ○女性職員の職域の拡大と性別にとらわれない能力の活用 ○名字を使用しないメールアドレスの導入の検討 ○キャリアデザイン研修の内容の充実 ○女性管理職としての意識・能力の向上につながる環境整備 ○女性職員のキャリアパスの例示 ○多様な人材との交流促進 ○計画的な人事異動による管理職としての能力の養成 ○セクションPRシートの公表 ○キャリアロスを生じさせないための取扱い

【個別施策⑤】地域への貢献活動の推進

○授乳・おむつ替えスペースの確保・拡充 ○子どもの安全を守る意識の向上 ○「ワーク・ライフ・コミュニティ・バランス」の推進

【問合せ】 総務部 職員課 担当：船田、福田 TEL0282-21-2352